

浮腫

浮腫とは？

浮腫は、血管外かつ細胞外（間質：かんしつと読みます）に水がたまった状態です。

症状は？

顔や重力の影響を受けやすい下腿、足などにむくみとして現れます。

顔の浮腫は、自分で気付いたり、他人から指摘されたりします。

下腿、足の浮腫は、夕方に向かって著しくなります。靴がきつ

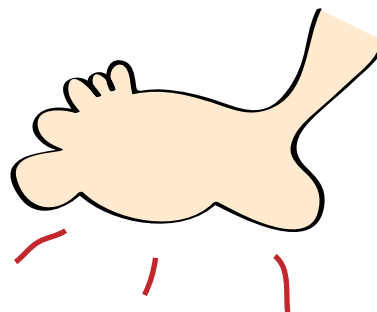
くなったと感じます。指で浮腫の箇所を圧迫すると凹みます。

これを指圧痕（しあつこんと読みます）といいます。

陰部にも認められることがあります。

浮腫の増加は、体重の増加として現れます。

外観からは分かり難い胸の中や腹の中の浮腫は、X線検査、超音波検査、CT検査、などで検出できます。



原因は？

毛細血管には穴があいていて、血圧がかかっていますから、血管の中の水分が外（間質）に出ようとしています。一方、血管の中にあるアルブミンなどのたんぱく質は、水分を引きつける浸透圧の作用を持っています。間質液の中のたんぱく質も浸透圧の作用を持っています。たんぱく濃度は、血液の方が間質液よりも高く、両者の浸透圧差が、水分を血管の内にとどめようとしています。ですから、浮腫が現れるということは、以下の場合のように、毛細血管の血圧と浸透圧差のバランスが崩れていることになります。

- ①毛細血管の血圧が上昇する場合
- ②血管の中のたんぱく質の濃度が低下する場合（低アルブミン血症、低たんぱく血症）
高度のたんぱく尿（ネフローゼ症候群）
低栄養状態
- ③毛細血管がたんぱく質や水分を通しやすくなった場合

治療は？

①原因疾患の治療



②塩分の制限、水分の制限



③安静



④利尿薬

